



今回の活躍人

本間妙子さん

祖母の代から続く本間美容室の3代目。本宮美容師会会長・百日草花粧会創定委員・SBSメイク講師・全日本講師会委員。サロンからブライダルまで幅広い分野で活躍し、提案する新しい美のスタイルは業界誌や着付けの専門誌に幾度となく取り上げられている。



活躍人訪問

vol.79

■新しいスタイルを提案していく本間妙子さんとは、祖母の代から続く美容室の3代目。髪結い、美容所、美容室と時代の流れとともに呼び名は変わったが、代々美容に携わってきた。

現在、本間さんは自身のサロンでの仕事をこなしながら、ブライダルや講師として依頼を受け、県内はもとより全国を飛び回っている。美容師と聞くと髪を切ったり、パーマをかけたりにすることをイメージするが、本間さんの場合は、それらに加えメイクや着物のプロデュース、着付けまでこなす。頭から足先まですべての美を二手に担うトータルビューティシャンだ。

近年は、着付け分野で新しいスタイルの帯結びを提案し続けている。昨年9月に岡山県で開催された全日本美容講師会主催の『第101回トップマスターズモード発表会』では、全国のトッププロと共同し、晴れの国・岡山をイメージした創作帯結び『うらら』を発表。今までになく斬新な着物の柄と相まって、大きな話題を集めた。帯結びは、

仕事は思いを引き出し、形にしていくこと

帯が長いほど、複雑なデザインが可能となる。しかし、長い帯は数が少なく、複雑になれば難易度も上がる。そこで、本間さんらは、市販の帯の長さを保ち、洗練されたデザインでありながらも容易に真似できる帯結びを目指した。常に新しいデザインを考える日々だが、試行錯誤するときもあれば、パツと降りてくるときもあるという。

■その日その日が真剣勝負

サロン、ブライダル、講師と多忙な毎日を送る本間さん。留守中もしっかり仕事を支えてくれるサロンスタッフがいるからこそやってこられているという。「その日その日が真剣勝負」「どの場でもコミュニケーションを大事に、お客様のやりたいことを引き出していくこと」を心掛けた仕事に臨んでいる。現在、本間さんは本宮美容師会の会長も務めている。近年、美容師会に所属する美容室が減ってきているが、会として、お客様の安心・安全を守るために、公衆衛生の講習をしっかりと行い、会員数を増やしていきたいと語った。

パスタランチ(海の幸 ポモドーロ) / 1,380円



経験が生きた 創作イタリアン
トラットリア アズーロ
はるかぜ

■営業 11:00 ~ 14:30 / 17:30 ~ 21:30

SHOP INFO

- 住所 本宮字南町裡 156-1
- 電話 37-2604
- 定休 日曜、祝日、第3・5月曜
- 駐車場 なし

昨年、市内に再移転した「はるかぜ」は家具や照明に統一感を持たせ、ヴィンテージな空間を演出しています。

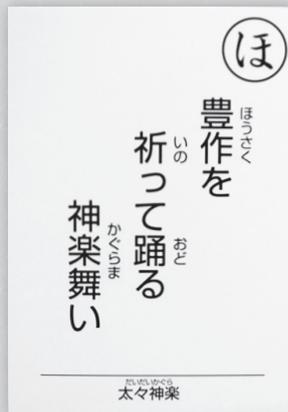
パスタランチは、ミートソースやバジルなど5種類のソースから好きなパスタが選べる定番メニュー。一番人気の「海の幸ポモドーロ」は、トマトソースをベースに、大きめに切ったホタテ、エビ、カニなどの魚介類がふんだんに入った一品です。

オーナーの三上英之さんは、日本食や中華などさまざまなジャンルを渡り歩いた料理人。店のレシビはどれもオリジナルで、多彩な経歴に裏付けられた確かな味を楽しむことができます。休日は食べ歩きを楽しみながら、研究もしているという三上さん。常連客には、好みに合わせてメニューをアレンジして提供するなどの、優しさと料理に対する情熱を忘れない凄腕シェフです。

■太々神楽
市内7つの神社



ほ
太々神楽



ほ
太々神楽

本宮かるた巡礼

その六

太々神楽

「太々神楽」は神様をまつるために奏する歌舞で、白沢地区では6つの神社(浮島・和田・長屋・鹿島・春日・高松)で、本宮地区では荒井神社で保存継承されています。白沢では、地区をあげた継承活動が行われ、昔は、義務教育を終了した長男は自動的に加入となっていたほか、長屋神社の神主小松左膳氏が舞の順序や演じ方を整理し、氏子に伝授していたそうです。

神楽の語源は神座(かみくら)の約音で、尊い魂を呼び招き、衰えた魂を復活させる儀式のこと。その儀式が、笛太鼓の囃子にあわせて古事記や日本書紀に伝わる神話などを演じる舞踊劇へと芸能化・様式化され神楽になったと言われています。